

平成29年度院内看護部教育研修計画

教育委員会 2017.2.24.

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研修名	新採用時研修 (4月~6月) ・基礎看護技術 ・外来基礎看護 ・手術室基礎看護	→ 接遇研修	感染対策 管理者研修	ワークショップ	/	医療安全 プリセプティ会	プリセプター会 院内研修発表会	災害看護	/	医療機器	伝達研修会 事例発表会	ターティ会 ター直前研修
講師	各担当者	協和発酵・教育	山本師長・教育 阪西部長	古田副看 坂尻師長・御川師長	/	久下主任・教育 阪西部長・教育	阪西部長・教育 院内研究発表委員	古賀副看	/	医療機器委員	教育委員	阪西部長・教育 部長
日時	4月~5月	5月11日(木) 1800~1900	6月1日(木) 1800~1900 6月12日(月) 1730~1830	7月6日(木) 1800~1900	/	9月7日(木) 1800~1900 9月14日(木) 1800~1900	10月5日(木) 1800~1900 10月19日(木) 1800~1900	11月2日(木) 1800~1900	/	1月未定	2月1日(木) 1800~1900	3月1日(木) 1800~1900 3月22日(木) 1800~1900
目的	基本的看護技術の演習を通して、安全・安楽な看護の提供能力を習得する	基本的スキルを身につけ、より良い人間関係を築き実践に活かす	感染に関する学びを深め適切な感染対策が実施できる	グループワークを通して看護 介護について学びを深め現場で活用できる	/	当院におけるインシデント 不適合アクシデントを知り情報を共有し看護 介護に活かす 夜勤業務に向けて一連の業務の不安の表出と解決方法を導き出す	ティの不安が軽減するよう働きかける 研究に興味を持ち現場において活用できる	災害時の知識や看護活動を学び実践できる力を身につける	/		学びや情報を伝達し、共通した看護・介護の実践ができる事例からの学びを今後の看護に活用できる	ターティの成長の報告。ティについては知識・技術の習得を見直し次年度の目標を明らかにする。 ターの役割を理解し統一した指導ができる
対象	新採用者及び途中入職者で研修を必要とする者	全職員 レポート対象 クラーク	全職員 レポート対象 看・介1段階 レポート対象 師長・主任	全職員 レポート対象 看・介3段階	/	全職員 レポート対象 看・介4段階 歯科衛生士 ME プリセプティ 教育委員	プリセプター 教育委員 全職員	全職員 レポート対象 看・介2段階	/	全看護部職員	全職員	ターティ 次年度のプリセプター対象者 希望者 教育

*レポート対象の研修は参加レポート、または不参加課題レポートの提出が必要 全：全職種 看：看護師 介：介護士 ク：クラーク